

海外乳製品市況

全粉乳・脱脂粉乳

ニュージーランド(以下NZ)では良好な天候と適度な降雨により、生乳生産量はシーズンのピーク水準に向け上昇しています。DAC(開発援助委員会)NZによると、7月の生乳生産量は18万5千メトリックトン(以下MT)昨年同月比5.1%減、一昨年同月比14.2%増と好調であった昨年を下回るものの例年と比べると良好な水準になっています。

またシーズン初期(6-8月)の生乳生産量は、昨年比3.4%増であったと報じる機関もあります。乳牛、牧草共に良好な状態で、一部の地域では既にピーク水準の牧草の生育がみられています。乳牛頭数の増加と高い乳価により、今シーズンの生乳生産量は6%増加するとの予想もあります。南島では粉乳の新工場が稼働していますが、乳製品全般の世界的需要が高く、中国の全粉乳需要は引き続き堅調に伸長している状況から、オセアニア乳製品の供給は逼迫気味で全粉乳を中心に高値が続いています。豪州の生乳生産量は徐々に増加してきていますが、前年比では若干減少しています。8月の生乳生産量は前年比4.7%減となっており、地域別ではニューサウスウェールズ4.7%減、ビクトリア4.4%減、クイーンズランド4.3%減、南豪州8.6%減、西豪州1.8%減、タスマニア7.3%減であったとDairy Australiaより報告されています。集乳量は季節柄増加傾向で、工場はフル稼働している模様です。全粉乳、脱脂粉乳に関し、10月1日のgDT(グローバル乳製品取引)平均落札価格は全粉乳がUS\$5,208/MT(+2.3%)、脱脂粉乳はUS\$4,491/MT(+3.9%)となりました。

欧州の天候は良好で、高い乳価により酪農家の生産意欲は高まっている模様です。

7月のEU28ヶ国の生乳生産量は2%増加しており、8月上旬の生産量は前年比でドイツ3.5%増、オランダ10%増、イギリス5%増となっています。東欧ではポーランドの8月の生乳生産量は前年比0.7%増となりました。

2015年3月をもってクォータ制が撤廃される事が、各国の生乳生産にどのような影響を与えるかについて注目が集まっています。全粉乳はオセアニアが逼迫している事を受け、価格は堅調ですが、脱脂粉乳は僅かに弱含んでいます。gDTに欧州産脱脂粉乳で参加しているArlaの価格は、US\$4,185/MTとNZ産よりも若干安くなりました。

相場動向(9月26日米国農務省調べ・港渡価格)

□オセアニア	全粉乳:US\$4,850-5,200/MT	脱脂粉乳:US\$4,350-4,750/MT
□欧州	全粉乳:US\$4,900-5,200/MT	脱脂粉乳:US\$4,100-4,450/MT

バター・その他乳脂肪

オセアニア産バターの価格は堅調です。ロシアはNZ産乳製品の輸入を再開しており、中国需要も強く世界的に需要が堅調です。豪州では小売りでの消費が堅調な模様です。

価格も競合先であるUS産が依然安値とはいえず上昇している状況を受け、オセアニア産も上昇しています。10月1日のgDT平均落札価格はバターがUS\$3,915/MT(+0.1%)、AMF(無水乳脂肪)はUS\$5,062/MT(+2.7%)となりました。

欧州産バターの価格は、ユーロ高に影響されて高値が続いています。バターの輸出は限定的であり、域内の既存客向けがほとんどです。クリームの価格は依然として高値ですが、安定しています。バターオイルの価格も上昇しており、限定的です。

相場動向(9月26日米国農務省調べ・港渡価格)

□オセアニア	バター:US\$3,550-4,500/MT	
□欧州	バター:US\$5,400-5,875/MT	バターオイル:6,200-6,950/MT